

愛知県神社関係者大会



12月19日、愛知県下の神職・氏子総代・敬神婦人会役員など1,444名が参加し、愛知県神社関係者大会が江南市民文化会館を会場として開催されました。

まず、神宮遙拝、国家斉唱、敬神生活の綱領唱和、牧野武彦愛知県神社庁副庁長の開会の辞に続いて功労者表彰が行われ、神宮大麻表彰、恒例表彰など個人・団体合わせて100名余がその栄に浴しました。

次に小串和夫愛知県神社庁長が「お伊勢様の式年遷宮遷御の儀が厳粛の内に滞りなく斎行されました事、皆様と共に改めてお祝いを申し上げたい。平成17年の御杣始祭以来、執り行われてきました多くの行事に沢山の皆様のご参加をいただき、又奉賛会の募財活動においては目標額を大きく上回る募財を頂きました事に厚く感謝申し上げます。「終りは次の始まり」という言葉がありますが、明年からは第63回の式年遷宮が既に始まっているという自覚の元で、総参宮運動・大麻頒布活動を通して御遷宮の意義を啓発し、この伝統を次の世代に継承して行かねばならないとの強い決意を皆様方と共有して参りたい」と挨拶しました。続いて県神社総代会会長挨拶（代理副会長大森一人氏）、神社本庁統理告辞（代理神社本庁総長田中恆清氏）、神宮大宮司祝辞（代理神宮禰宜渡邊和洋氏）、来賓紹介、祝電披露しました。その後、大会宣言文を畔柳直道愛知県神道青年会会長が朗読し、全会一致で決議されました。

続いて皇學館大学の岡田登教授による「伊勢の式年遷宮とお蔭参り」と題する講演が行われました。講演終了後、神尾俊治県氏子総代会副会長の先導により聖寿の万歳を三唱、白井清夫愛知県神社庁副庁長の閉会の辞をもって大会が終了しました。